



平成31年
新春号

vol.53

福祉施設いずみえん広報誌



いずみ



ごあいさつ



明けましておめでとうございます。

平成最後のお正月をどのように過ごされましたか？

昨年は職員旅行の海外班が11月中旬から末に実施され、その後に幹部職員フォロー研修があったり、(仮称)こぶしえんの工事契約があったりで、忙しい暮れとなりました。

新しい年号はどんな名称なのでしょう？消費税も8%から10%に引き上げられます。何が何でも10%に上げたいようで、政府はあの手この手を打ってきます。

(仮称)こぶしえんの解体工事がいよいよ本格的になります。さくらえんのサテライト施設の計画も現実的になってきました。あゆみ保育園の改修工事も始まります。選択と集中という定石を逸脱して多方面で新たな事業を展開することになります。

事故が起こらないようにすることはもちろんのこと、既存の事業においてはあたりまえの生活にあたりまえのサービスが十分に提供できるよう、今まで以上に連携を取りながら仕事を進める所存です。

今年もみなさんにとって、そして徳心会にとって良い年でありますように。

社会福祉法人徳心会 理事長 関根陸雄



法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」



新入職員座談会

Q なぜいずみえんを選んだのですか？

牛山「就職を考えている時にいくつかの障害者支援施設を見学し、いずみえんの雰囲気明るくて魅力を感じました」

遠枝「実習でお世話になり、いずみえんで人と関わることの楽しさや難しさを学ばせていただき、ここで介護のことをもっと深く知りたいと感じたためです」

中島「実習でいずみえんにお世話になり、実習の時に関わったご利用者とこれからも関わっていきたく感じたことがきっかけです。また、障がい分野にも興味があり、いずみえんでは介護と障害者支援双方の仕事が行える可能性があるというところにも魅力を感じました」



覚えていくことが今の目標です」

中島「新しい業務が増えていく中で一通りの業務に慣れていきたい。また、1日1回は必ず利用者との会話など、楽しみや面白さを見つけていくことを1日の目標にしている」

吉田「まだまだ未熟な点が多いので、まずは基礎を完璧にしていこうと思っています」

Q. 尊敬する先輩はいますか？

牛山「います。その先輩は、利用者のことを第一に考え、時には他の職員にも意見してより良い結果になるように行動しています」

遠枝「います。実習生の頃からその方をお手本にさせていただいています。声掛けの仕方や、細やかな気遣いなど、いつでもご利用者を一番に考えている姿をとっても尊敬しています」

中島「対人職だからこそ、職員一人ひとり利用者との関わりなどの際に尊敬できる箇所があります。その中でも常に利用者に温かい声掛け、関わりを行い職員に対しても気遣いや注意する点は改善点も含めて伝えていく先輩をとっても尊敬しています」

氏原「一つ一つ丁寧に業務に向き合う先輩や厳しく指導をしてくださる先輩です」

Q. 仕事には慣れましたか？

塩田「環境には慣れたけど仕事としてはまだまだ。そろそろ夜勤も立ち回るけど、緊急時にちゃんと対応できるか不安。あと、先輩は効率よく仕事も早いので、迷惑をかけないようにしたい」

吉永「いい意味で慣れたというか、仕事を始めたころは今思えば緊張していたかなと思う。視野は広がった」

相模「明後日から夜勤。先輩の動きを見ているとすごいなって改めて思う」

Q. 目標はありますか？

牛山「夜勤を含めて立ち回る。そして、全ての業務が一通り出来るようになった上で、改善した方が良くと思う部分などを意見できるようにになりたい」

遠枝「ご利用者とそのご家族に安心して介護を任せていただけるような職員になることが大きな目標です。そのために、ひとつひとつの業務とその根拠を正確に



心をつなげる福祉マラソン大会



11月18日(日)、荒川河川敷にて「心をつなげる福祉マラソン大会」が開催され、支援事業部からご利用者が5キロの部に参加されました。

当日は澄み渡るような秋空のマラソン日和となり、日頃の練習の成果を発揮して無事にゴールすることができました。走っている間は苦しそうなお時間もありましたが、併走の職員とお互いに励ましあいながらゴールに向かいました。ゴール直後は頑張って完走できたという達成感からか、満面の笑みが見られました。

今後もまた練習に励み、来年もマラソン大会に参加することで達成感を味わっていただきたいと思います。

支援2課 落合孝之



花粉症と腸内環境のおはなし

花粉症は食生活を見直し、腸内環境を整えて体質を改善することで、症状を和らげることができるそうです。人の身体は、体内に花粉(アレルゲン)が入った際、それを異物と判断し、排除しようとする『免疫反応』が働きます。

この免疫反応が働くことをアレルギーと呼びます。アレルギー緩和の鍵は、『免疫反応』と大きく関わり、免疫反応の60%以上が腸に集中しているといわれています。私たちの腸内に棲む善玉菌(乳酸菌やビフィズス菌)を増やして腸内環境を整えることが大切です。



食物繊維やオリゴ糖を体内に取り込むと、それが善玉菌のエサとなり腸内の善玉菌を増やすことにつながります。食物繊維には根菜類や海藻類、こんにゃく、きのこ類、切干大根などが多く含まれます。オリゴ糖は発酵食品(味噌、ぬか漬、納豆、お酢など)によって摂ることができます。また、お節料理の紅白なますにはお酢が使われています。お酢のグルコン酸には、善玉菌を増やす作用があります。杉花粉の花粉症の到来はもうすぐです。食生活を見直して腸内環境を整えましょう。

栄養課 係長 西本亜紀

デイサービス紹介



デイサービスセンターいずみえんは、通所介護と認知症対応型通所介護、2種類の通所介護事業を運営しています。

いずみえんのデイサービスは、入浴・食事・レクリエーション・リハビリをサービス提供時間内にバランスよく提供しております。最近多く見られるようになった、リハビリ特化型などのデイサービスに比べると、それぞれの分野では物足りなさが出てしまうかもしれませんが、逆に1つに特化していないことで様々なご利用者の受け入れを柔軟に行うことができます。認知症対応型は、上記サービスに加え、更に認知症の方を対象にした専門的なケアを提供しています。

一部の方々だけでなく、多くの方々が住み慣れた地域や環境で過ごし続けられるお手伝いができるよう、これからも職員一同努めてまいります。見学、お問い合わせは随時対応いたします。お気軽にご相談ください。

介護4課 課長 菅谷孝記

EPA 4期生紹介

今年もEPA（経済連携協定）に伴い、インドネシア人介護福祉士候補生の受け入れを行いました。徳心会として今年は7名の受け入れを行い、内2名の男性が12月4日（火）よりいずみえんで働いています。法人としても初めて男性の受け入れを行いました。向かって左が「ロビ」さん、右は「デデ」さんです。至らない点も多くあるかと思いますが、温かく見守っていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

相談課 課長 眞弓勉



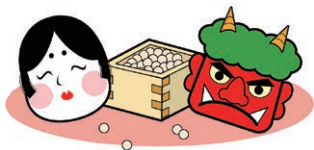
ロビさん

デデさん

2月

節分

「鬼は外～！福は内～！」の掛け声と共に豆を投げて鬼退治。鬼に豆を投げて邪気を払い、無病息災を祈願します。節分にちなんだお食事を提供いたします。



3月

ひな祭り

1階障害者支援施設（通い）横に雛人形を飾ります。各フロアでもレクリエーションを楽しみながら、お祝い膳も味わっていただきます。



4月

お花見

近隣に咲く満開の桜を眺めながら、春を味わい季節を感じ、楽しんでいただきます。行事食としてお花見御膳をご用意いたします。



いずみ VOL.53

発行 社会福祉法人 徳心会
福祉施設 いずみえん 広報委員会
〒146-0093 東京都大田区矢口3丁目1番5号
TEL. 03-3759-5550 FAX. 03-3759-5634

発行人 園長 山村修司
編集人 広報委員長 眞弓勉
発行日 平成31年1月1日
E-mail izumien@tokushinkai.jp
H P <http://www.tokushinkai.jp>



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。

風天

いずみ53号では、新人座談会、支援事業部のご利用者が参加された福祉マラソン、栄養課コラム（花粉症のおはなし）などについてご紹介させていただきました。右も左も分からずに不安な表情を見せていた新入職員も、それぞれに介護への思いを話し合える程に成長し、大変心強く思います。今年も厳しい寒さです。手洗いやうがいを中心、風邪など召されませぬよう、みなさまご自愛下さい。

介護2課 リーダー 對馬潤一